

要望書（回答）

- 1 コロナ感染透析患者については、オミクロン株感染であっても入院治療（維持透析含む）を原則とするようお願いいたします。透析施設におけるコロナ感染症クラスターに備えて以下についてもお考え下さい。

【回答】（健康こども部健康支援課 担当）

感染者の方の入院調整につきましては、道立苫小牧保健所が判断しておりますので、本市よりご要望についてお伝えさせていただきます。

- 2 オミクロン株においては、透析患者も自宅療養や宿泊療養となることが心配されます。こうした場合における外来維持透析の継続について以下の対応が必要です。道、市町村は、透析施設や送迎事業者等と協力して構築願います。

- ・通院している透析施設の受入れ体制
- ・通院手段の確保（自力通院は不可能かと思います）

【回答】（健康こども部健康支援課 担当）

現在、透析患者様がコロナウイルスに感染された場合は、病状等により、透析施設において外来治療や入院治療を実施していると伺っております。

- 3 追加接種（3回目接種）については、治療中の透析施設において個別接種を行って頂くことを行政から願いして頂き全ての透析施設で実施して頂けることを望みます。その上で、実施施設においては年齢や在住する市町村に関係なく希望する患者、患者の介護者（家族を含む）に接種できるようにしてください。

接種を進める道・市町村においては連携して透析施設へのワクチン供給などの支援をお願いします。

【回答】（健康こども部健康支援課 担当）

現在、本市では透析施設において接種をご希望される患者の方について、住民登録地等を問わず接種を実施しておりますため、今後も現状の接種体制を維持できるよう努めてまいります。

- 4 透析施設でのコロナ感染症のクラスターを出さないことを目的とした抗原検査等（PCR、抗原）を患者・スタッフに実施できるご支援をお願いします。

報道によると、検査キットが不足している様ですが、道知事並びに市町村に是非とも透析施設に検査キットを届ける仕組みを作って頂くようお願いいたします。

【回答】（健康こども部健康支援課 担当）

新型コロナウイルス感染症に対する検査体制の構築につきましても、所轄が道立苫小牧保健所となりますので、本市よりご要望についてお伝えさせていただきます。